

## 国際協働ゼミナールD（担当： 山岡 邦彦）

このゼミナールでは、学生諸君が自由闊達な雰囲気の中で広い視野に立ち、文献研究や討論を通じて知識・思考力を深め、自分の考えをわかりやすく的確な日本語で伝える能力を身につけるようになることを目指します。

テーマは、「変化する国際秩序の中で、朝鮮半島と日本の関係を考える」です。

日本の発展は近隣地域の安定と繁栄を抜きにしては成り立たないと言ってよいでしょう。日本と近隣諸国の関係は長きにわたり、いまま歴史問題など様々な懸案を抱えています。将来を見据えながら、隣接する国々とどう付き合っていくのかを考えることは、ビジネスや教育の現場でますます重要になっています。そうした問題意識を持って、朝鮮半島と日本の関係を考察しようというゼミナールです。

このゼミナールでは、具体的に以下のように授業を進めます。

第一に、私たちが生きている現代世界について、とりわけ地理的にも歴史的にも密接な朝鮮半島について、基礎的な知識を広範かつ正確に習得しながら、議論を通じて論理的な思考を深めていきます。各人が興味を持つ政治、経済、社会、文化など、日本と韓国・北朝鮮の間に存在する個別の問題の一つを研究テーマに設定します。選んだテーマに沿って、調査活動を行い、深い考察と分析を加え、研究内容について随時発表し、議論します。大切なのは、自分の関心分野だけにとどまらず、ゼミナール仲間の取り組む他の領域についても広く関心を持つ姿勢です。他人の発表をよく聞き、理解に努めつつ、自らの見解を整理して表明していく能力を培っていきましょう。

第二に、以上の過程を経ながら、卒業研究のテーマを設定します。テーマに沿って、卒業論文のアウトラインを作成し、必要な調査、分析を進めていきます。

最後に、卒業論文を完成させて、発表します。

ゼミ配属希望学生への要望事項です。

朝鮮半島にかかわる問題について強い関心を持ち、学問への情熱がある学生を求めます。文献研究の幅を広げる意味から韓国語の既修者であることが望ましいですが、英語文献も数多くありますので、必ずしも韓国語既修者にこだわるものではありません。